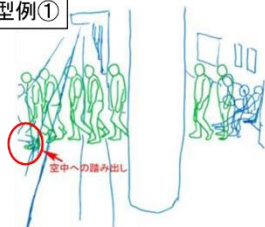


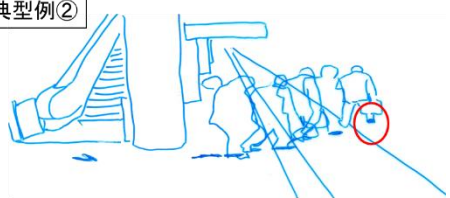
業 種	鉄道・軌道
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	酔客等のホーム転落事故を防止するための取組み
取組の狙い	酔客がホームから線路に転落する事故を科学的に分析し、ホームからの転落事故防止対策を図る。
具体的内容	<p>西日本旅客鉄道(株) (以下、「JR 西日本」) では、酔客がホームから線路に転落する事故を科学的に分析し、ホームからの転落事故防止対策を進めている。</p> <p>1. 分析の概要</p> <p>JR 西日本では、福知山線列車事故を教訓に設立された JR 西日本安全研究所において、JR 西日本の京阪神エリアと大阪市交通局の路線に設置された防犯カメラの映像を収集し、酔客による線路内への転落や電車への接触の様子などが写った映像をもとに事故に至るまでの行動について分析を行った。</p> <p>2. 分析結果</p> <p>その結果、酔客が線路内への転落や電車への接触に至る行動は、以下のような割合であることが判明した。</p> <p>①ホーム上の酔客が突然線路に向かってまっすぐ歩き始め、そのまま転落する (約 6 割)</p> <p>②立った状態から突然バランスを崩して転落する (約 3 割)</p> <p>③ホーム端を線路と並行にふらふら歩き足を踏み外す (約 1 割)</p>

① 酔客が突然歩き出して転落する様子

典型例①

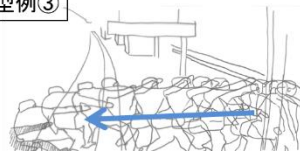


典型例②



典型例①: ベンチから立ち上がりホーム端に向かって歩き、**空中へ踏み出し**足から転落
 典型例②: ホーム奥からホーム端に向かって歩行し、**空中へ踏み出し**足から転落
 典型例③: 立位でバランスをくずし、**持ちなおそうと足が動いて**、勢いよく移動して転落

典型例③



② 直立状態の酔客が転落する様子

典型例①



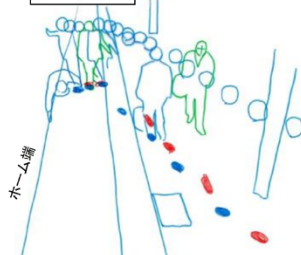
典型例②



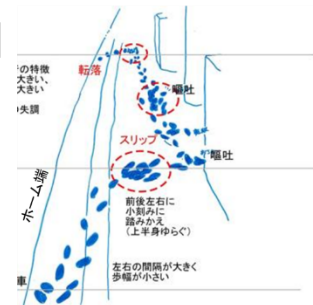
典型例①:乗車位置から前後にふらついて上半身から転落
 典型例②:しゃがみこんでいた酔客が立ち上がった直後にパタンと前方に転倒して入駅中の列車にぶつかる

③ ホーム端を歩く酔客が転落する様子

典型例①



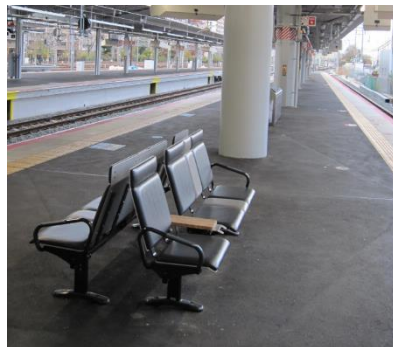
典型例②



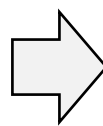
典型例①:ホームの端を歩いていた酔客がホームの端で足を踏み外して転落
 典型例②:ホームの中央部を歩きながらホーム上で嘔吐していた酔客が徐々にホーム端に近づいていき、いきなりホーム端に向けて後ろ向きに歩き出してそのまま後頭部から転落

3. 分析結果を受けた取組み

「ホーム上の酔客が突然線路に向かってまっすぐ歩き始めそのまま転落する」という行動が大きな割合を占めていることを受け、ベンチを線路と垂直に配置するよう変更した。なお、ベンチの配置を変更することでホーム上のベンチ数が減少するものの、コンコース等他の箇所にベンチを増設し、駅全体でベンチ数が減少しないようにしている。



(変更前)



(変更後)

取組の効果	平成 28 年 3 月末時点において、189 駅でベンチの配置変更が行われている。また、啓発用ポスター、TVCM、イベント等による啓発も同時に進めた結果、線路転落件数が、変更前と比べ確実に減少している。
事業者名	西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部 駅業務部 企画課